

# 平成 25 年度 柏崎市刈羽郡総合教育研究部 活動報告

部長 角山 稔

## 1 活動方針

部員一人一人の積極的な研修への参加を通じた「総合的な学習の時間」の授業づくりを推進するため、昨年までの実績をもとに柏崎市立教育センターとの連携した講座や、指導者を招いた授業研修会を企画・運営を行います。

## 2 活動の概要

- (1) 研修会の開催・・・柏崎市立教育センターと連携した授業づくり講座の開催
- (2) 授業研修会の開催・・・外部指導者を招いた授業研修会の開催
- (3) 全員レポートの作成・・・総合的な学習の時間に関わる個人レポートの作成

## 3 活動の実際

### (1) 教育センターと連携した講座の開催

8月1日(木)、谷根川流域を会場に教育センターとの共催講座として「谷根川上流溪流ウォーク」を実施しました。講師には夢の森公園スタッフをお願いし、川の上流の教材化について学びました。荒天のため川に入れませんでしたが、現地の景観に触れたこと、実際の活用例を紹介いただいたことなど、授業づくりに十分役立つ内容でした。

8月19日(月)、教育センターを会場に、昨年に引き続き、NPO法人東京コミュニティスクール校長市川力様を講師として「探求する力」をテーマに共催講座を開催しました。「知識を学ぶだけでなく、知識をつくりだす学びが子どもたちの発見を洞察に導く」という市川様からの話をお聞きし、探求する場の必要性を改めて考えさせられました。

共催講座の他、教育センター主催の総合的な学習の時間に関連講座(生活科、理科、社会等)を部員に紹介し、積極的な参加も促しました。



### (2) 外部指導者を招いた授業研修会の開催

9月27日(金)柏崎市立新道小学校を会場に、上教大准教授松井千鶴子准教授を講師として授業研修会を開催しました。鶴川という同じ題材を扱っても子どもたちの発想をベースにした展開により、学習内容を大きく異なるという試みの公開授業でした。

講師の松井准教授からは、地域や人とのかかわり、歴史的な背景など、多くの観点から教材の見直すことが新たな実践につながり、子どもたちの発想を生かした学習が展開できるというご指導をいただき、今後の授業づくりの方向付けとなりました。

### (3) 個人レポートの作成

講座参加や授業研修会等の学びをもとに作成した各自のレポートを相互閲覧できるホームページに掲載することにより、各自の今年度の研修のまとめとしました。

## 4 成果と課題

部員一人一人の参加意識の向上を目指し、教育センターとの共催講座を2講座に増やす、外部講師を招いた授業研修会を行うなど、内容のある研修会の企画運営を行いました。その結果、講座参加者の増加や、有意義な意見が交わされた協議会となりました。

今後も実践的な講座や授業研修会を継承しながら、部員一人一人が授業づくりに関わる研修の機会の拡充を進めていく必要があると考えています。